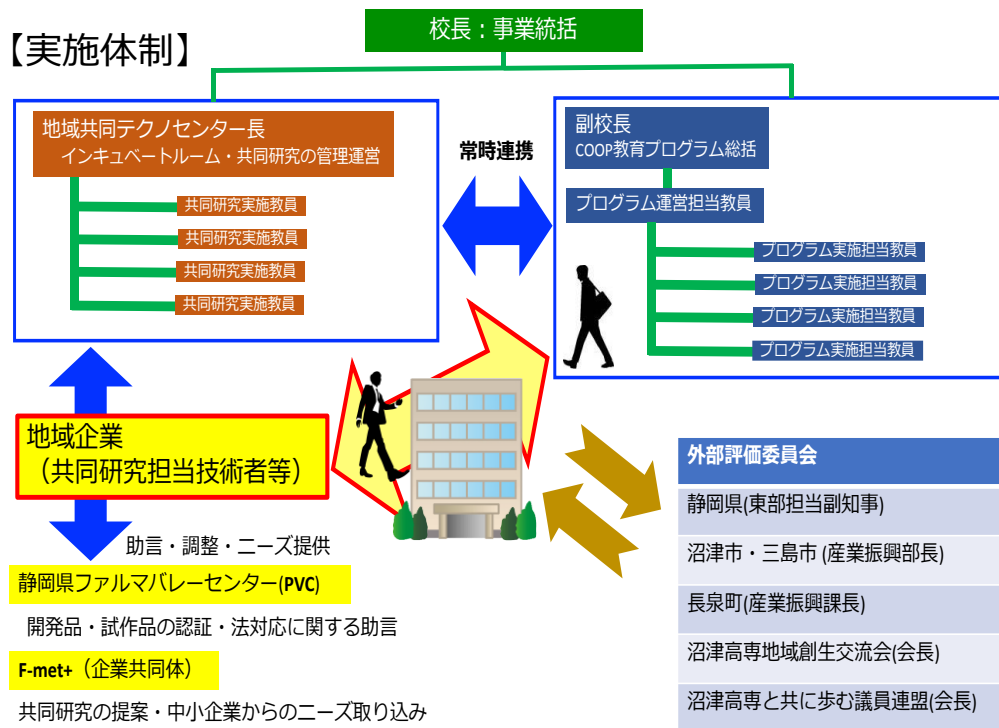




【取組の目的、内容】

静岡県の実成長新産業である医薬品・医療福祉機器関連産業への貢献を特色・強みとすべく、沼津高専の技術者教育を産業界・地域との連携が強化されたものとする。県内中小企業が新規事業への参入や新商品の開発を活発に実施できるように、学内に研究開発用インキュベートルームを確保し、学内設備機器を含めて利用を認める。ここでの研究開発を教員および企業技術者とともに学生が実施する学内インターンシップ等のCOOP教育により、新産業を牽引する技術者を養成する。

【実施体制】



【工程表】

時期	実施内容
H29.7~9	立ち上げ: 学内説明と学内体制作り 学内規定と専用Webサイト整備 外部への説明と連携体制作り
H29.10~12	インキュベーター企業募集等: PRイベント準備・開催および入居企業募集 入居企業の選考と入居の開始
H.30.1~3	共同研究とCOOP教育の実施: 入居企業を含めたCOOP教育体制の構築 COOP教育(短期)の実施 外部評価委員会・チェック及び改善
H.30.4~	COOP教育(長期)実施: 進捗と成果の学内報告会

【成果指標】

- 新設インキュベートルームへの入居企業数  
未実施（H28年度）⇒ **3室すべてに企業入居**（H30年度目標値）
- COOP教育 修了学生数  
（インキュベートルームを活用した学内インターンシップ参加者）  
未実施（H28年度）⇒ **10名**（H30年度目標値）



【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

- 学内でのCOOP教育の定着
- 商品開発経験のある卒業・修了生の輩出
- 学内での企業活動の定着
- 定期的な新商品の持続的な開発
- プログラム修了生の追跡調査